








ID:	患者氏名:	様	症状:	号室	
日付	月 日(水)	月 日(木)	月 日(金)	月 日()~ 月 日()	月 日()
経過	入院当日	リツキサン投与当日	化学療法当日	化学療法終了後	退院日
	1病日	2病日	3病日	4~14病日	15病日
治療スケジュール	入院時に化学療法に向けて、いろいろな検査を行います。	リツキサンを投与します。 アレルギー出現予防のための前投薬を投与します。 リツキサンは10時頃から投与を開始し、問題なければ15時頃投与が終了します。	化学療法のオンコピン、ドキシソルピシン、エンドキサンを投与します。 副作用予防のため制吐剤とステロイド薬を投与します。 5日間プレドニゾロンを内服します。	化学療法後、副作用症状の観察を行い、症状出現時は指示薬を使用し苦痛緩和を図ります。	副作用症状がなく、採血結果がよければ退院となります。
目標	治療について理解できる	予定どおり治療が終了する	 副作用症状出現時早期対処することができる	退院できる	
検温	入院時、身長と体重を測定します。	リツキサン投与中は1時間毎に検温します。 1日2回体重測定を行い、()kg以上で利尿剤を投与します。	1日2回検温を行います。 		
処置・測定	・胸部レントゲン撮影を行います。 ・12誘導心電図を行います。 ・採血・採尿など適宜お伝えします。	リツキサン投与開始から終了から2時間は心電図モニターを装着し、波形の観察を行います。	1日3回食前に血糖測定を行い、151mg/dl以上の時はインスリンを注射します。 採血結果をみながら点滴をします。 		
説明・指導	入院生活について説明します。 化学療法について、副作用および予防法・出現時の対処法について説明します。	リツキサンの副作用症状について説明します。	困っていることがあればいつでも医師や看護師に相談してください。 	退院指導をおこないます。	
食事	入院中は病院食のみを摂取となります。		化学療法中、食欲がない時は食事内容は変更できるので希望があれば看護師に伝えてください。 お薬がのみづらいときは代わりに注射や点滴をします。		
生活・行動	歩行は自由です 毎日シャワー浴を行いましょ。お体が辛いときは体拭きを行います。 感染予防のため手洗い・含嗽をしっかり行いましょ。		特に感染予防には注意が必要です。治療により、免疫力が低下し風邪を引きやすい状態になってしまうため、日頃から手洗いとうがいを丁寧に 		
その他	【抗癌剤の副作用症状について】 ・リツキ アレル しやすいです。投与開始~24時間以内に出現します。 発熱・ →抗ア →抗ア ・エンド: 出血性 →尿量確保のため、生理食塩水を点滴します。 ・オンコピン 手足のしびれ、便秘 →しびれが強い時はしびれ予防の薬をのみます。便秘時には緩下剤を使用します。 ・プレドニゾロン(ステロイド剤)	【その他副作用症状】 ・悪心・嘔吐 →制吐剤の投与、食事内容の変更、必要時栄養の点滴を行います。 ・口内炎 →うがい、歯磨きの指導を行います。必要時はうがいの水を変更します。 ・血球減少 白血球が低下すると、病原菌に対する抵抗力が低下し感染症を起こしやすくなります。 →白血球回復のため、ノイトロジンというお薬を注射します。感染予防について指導します。また予防のため抗生剤の投与を検討します。 →必要に応じて輸血を投与します。 ・脱毛 治療開始から2~3週間で抜け始めます。 →長い髪はあらかじめカットしておくのもよいでしょう。帽子をお渡しします。			

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。